

患者の皆様からのご意見と回答(2025年12月)

ご意見

昨年の11月に肘を骨折し、手術、リハビリの後、今年の10月に入院して、抜釘手術をしていただきました。整形外科の先生、リハビリテーション科の作業療法士の先生には、長い間、大変お世話になりました。お二方とも、とても信頼できる優しい先生でしたので、安心して通院することができました。そして入院中は、4階西病棟の看護師の皆様、スタッフの皆様に心温まるケアをしていただき、通院中や手術時には、整形外科、リハビリテーション科、麻酔科のたくさんの先生方がスタッフの皆様にも励ましていただいて、とてもお世話になりました。本当にありがとうございました。

回答

暖かいお言葉を頂戴し、ありがとうございます。手や肘の手術において、整形外科医師と作業療法士・理学療法士は、日々協働し、日常生活で満足に使用できる状態を目指して治療をしています。引き続き、より良い支援ができるようこれからもチーム連携を推進して参ります。



ご意見

私は、病院に52年間働いておりました。特に急性期に48年間事務職として、最後20年間は事務長として働いた私立病院経験から、公的病院の対応に少し不安を持って入院しました。しかし、働いている職員の皆様の仕事の出来ばえに、私の不安はふきとびました。先生はもとより、病院で一番患者さんが楽しみにしている食事に栄養士の方の努力に感動しました。今、物価が上昇している折、費用を考えた食材選びにご苦労されていると思いますが、献立に苦心が現れており、本当に感動と共に感謝で一杯です。これからも頑張ってください。私もこの入院の経験を現在働いている所で活かしていきます。

回答

病院でご勤務されておられる方からのお言葉は大変嬉しく励みになります。このたびはご不安な入院生活を職員一同で支えることができて良かったです。食事に関するお言葉を頂き、ありがとうございます。今後も地域の皆様へ安心な医療、ケアを提供できるよう職員一丸となり邁進してまいります。これからもどうぞお体ご自愛ください。



ご意見

ナースステーションの声がうるさい。もう少し考えて話してほしい。

回答

貴重なご意見頂きありがとうございました。不快な思いをされたこと申し訳なく思っております。医師・看護師共に今後は注意して対応させていただきます。申し訳ありませんでした。